

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 111 回 「ジャパンTHC」

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化～
「物流テクノロジー現地フォーラム2010」

【02】～『グリーンロジスティクス管理士』の資格を授与～
「第6期グリーンロジスティクス管理士資格認定講座」

【03】～ロジスティクスの基礎を体系的に学ぶ4日間～
「第29期名古屋開催ロジスティクス基礎講座」

【04】～業種業界を超えたヒューマンネットワークの構築～
「中部ロジスティクスシステム研究会」

【05】～最先端の事例・理論の吸収を通して 新しいロジスティクスの価値を創造する～
「ロジスティクスシステム研究会」／5つの研究テーマ（案）を提示
○コンプライアンス ○資産効率化 ○グローバル化
○情報システム ○人材育成

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

★

■最近の動向から（第 111 回）■

>> ジャパンTHC <<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

定期海運市況もようやく持ち直しの兆しが見えていますが、日本発着のアジア域内輸出入コンテナに対して、従前の ECHC (Empty Container Handling Charge) に代えてジャパン THC (ターミナル・ハンドリング・チャージ Terminal Handling Charge : コンテナ取扱料金) を導入する動きが増え、20 フィートコンテナで+14,000 円の 25,000 円、40 フィートで+20,500 円の 37,000 円と倍以上の値上げになり、荷主の間で大きな課題になっています。

この動きは、アジア域内の同盟・盟外を問わず多くの船社が参加している IADA (Intra-Asia Discussion Agreement : アジア域内コンテナ協議協定) による 2009 年 11 月 20 日ガイドラインをふまえたもので、今年 2 月から導入されています。これは日本の五大港のコンテナ取扱手数料を精査した結果とされています。

THC は、航路別・港湾別に表示されているので、荷主の中には、よく各国の港湾諸料金と混同される方が見られますが、実質的には海上運賃の一部として性格を有し

ており（国内運送費用の一部と見なされ関税率の適用対象外ですが）、船会社に支払われる料金です。

かつて、我が国の荷主協会（2009年に解散）も、それまでコンテナ基本運賃に含まれていたTHCを、欧州海運同盟が、1990年に、海上運賃の透明化、簡素化を理由に外出しし、サーチャージとして徴収することに反対した経緯があります。また、THCは、貿易条件（インコタームズ）上の適用対象として疑義の発生する論点でもあります。

他方、中国やベトナム、インドネシア、マレーシア等のASEAN各国では、コンテナ荷役料金と位置づけられながら、各国港湾荷役関係者の収入にならないこの費用が、海上運賃の一部を港湾側に帰属しているかのように設定していることについて強く批判しています。

今回は日本の港について大幅な追加チャージとなったわけですが、THCの位置づけも含めて、こういう動向は果たして健全な市場システムなのか疑問です。

【問合せ先】JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼講座・セミナー・研究会▼

★

～物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化～

■物流テクノロジー現地フォーラム2010■ 参加申込 受付中

★

先進的な物流現場の見学を通して、最新の物流技術の活用、生産性や品質向上のための物流現場の運営方法などを研究することを目的に5月19日よりスタートいたします。

物流・ロジスティクスの高度化、物流現場運営の強化のために本フォーラムへの参加をご検討ください。

【開催期間】2010年5月～2011年3月

（8月、12月を除き毎月1回開催）

※毎回主査が同行し、見学先のレポートをまとめて後日配布いたします

参加料：会員企業 157,500円／非会員 189,000円

■詳細とお申し込みは下記URLを参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/forum.html>

★

～「グリーンロジスティクス管理士」の資格を授与～

■第6期グリーンロジスティクス管理士資格認定講座■ 申込受付開始

★

物流・ロジスティクス分野における環境負荷を定量的に把握し、その低減のための施策の立案、推進、評価ができる人材の育成を目的とした「グリーンロジスティクス管理士資格認定講座」（旧称：グリーンロジスティクスエキスパート講座）を7月より開講いたします。

講座の特徴として、グループ討議を多く取り入れ、ケーススタディによる環境負荷低減施策の作成にあたることで、実践力を身に付ける内容となっています。講座を修了し、所定の試験に合格した方には「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。

【開催期間】2010年7月9日～2011年1月21日

【対象】製造業、流通業、物流業のロジスティクス部門、物流部門
環境部門のリーダー層の方々

【受講料】会員企業：247,800円 非会員：294,000円

■詳細とお申し込みは下記URLを参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#glxpt>

★-----

～ロジスティクスの基礎を体系的に学ぶ4日間～

■第29期名古屋開催ロジスティクス基礎講座 受講申込を受付中■

★-----

JILS中部支部では、名古屋開催ロジスティクス基礎講座（第29期）の受講申込を受け付けております。

【会期】

- ・前半：2010年6月8日（火）～9日（水）
- ・後半：2010年7月13日（火）～14日（水）

【受講定員】： 50名

【受講料】：JILS会員 84,000円/JILS会員外 99,750円（税込）

【問合先】 中部支部 TEL：052-588-3011

■プログラム詳細とお申し込みは下記URLを参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#lpsc>

★-----

～業種業界を超えたヒューマンネットワークの構築～

■「中部ロジスティクスシステム研究会」2010年度参加メンバー募集■

★-----

本研究会では、外部専門家による講演と物流施設の見学を実施しつつ、メンバー、関係者と相互に情報交流を行いながら、業種業界を超えたヒューマンネットワークの構築を進めていただくことを狙いとしています。

【会期】 2010年6月22日（火）～2011年3月15日（火） 各回14:00～17:00
／合計10会合

【会場】 ウィンクあいち 会議室（名古屋市中村区）

【定員】 20名（予定）

【参加料】 JILS会員：73,500円/JILS会員外：95,500円（税込）

【問合先】 中部支部 TEL：052-588-3011

※プログラムの詳細とお申し込みは下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/member/toroku/index.html>

★-----

～最先端の事例・理論の吸収を通して新しいロジスティクスの価値を創造する～

■「ロジスティクスシステム研究会」■

☆2010年度「5つの研究テーマ（案）」を提示☆

★-----

ロジスティクスシステム研究会は、2010年度の5つの研究テーマ（案）を提示しました。

研究会では、この5つの研究テーマ（案）を軸に、参加メンバーとの協議のもと、実際の会合テーマを決定し、メンバーによる事例発表、ゲストスピーカによる講演と情報交流を行います。

また、企画委員会を中心に、人脈づくりとビジネス機会創出を目的とした懇親会（任意参加）を毎会合後に実施します。

【2010年度研究テーマ（案）】

1. ロジスティクス領域のコンプライアンス対応
 - 1) 労務管理（派遣法改正対応）など
 - 2) 国際財務報告基準（IFRS）など
 - 3) 環境（改正省エネ法対応とコスト削減）など
2. ロジスティクス領域の資産効率化対応
 - 1) ロジスティクス領域におけるFM（ファシリティマネジメント）など
3. ロジスティクスを基軸としたグローバル化対応

- 1) 中国、ブラジル、インドネシア等の新興国対応 など
4. ロジスティクス領域の情報システム化対応
 - 1) ERP、PSI など
 - 2) WMS、TMS など
 - 3) クラウドコンピューティング など
5. ロジスティクス領域の人材育成
 - 1) 企業のグローバル化対応に伴う人材育成 など

【会 期】 2010年5月18日(火)～2011年3月 各回 14:00～17:00 (2テーマ発表)
／合計10会合+現場見学会(オプション企画)

【会 場】 東京都内会場(合宿、見学会は除く)

【定 員】 30名(予定)

【参加料】 JILS 会 員 : 73,500円(税込)

※JILS会員外の方でご参加をご検討、希望される際は、事務局まで
ご相談ください。

【問合先】 本部 顧客サービス部 遠藤
mail : endo@logistics.or.jp
TEL : 03-5484-4021

※プログラムの詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/member/toroku/index.html>

■=====

発行 : 社団法人日本ロジスティクスシステム協会
〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F
TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031
<http://www.logistics.or.jp/>
